

2013 関東大会／建築・デザイン系専門部会企画 I

BIM (ビルディング インフォメーション モデリング) を学ぶ

■日 時： 2013年8月23日(金) 14:00~16:30

■会 場： 関東職業能力開発大学校 建築系製図室 (E会場)

主旨

建築をつくる際には、発注者、設計者、施工者間で多くのデータがやり取りされます。

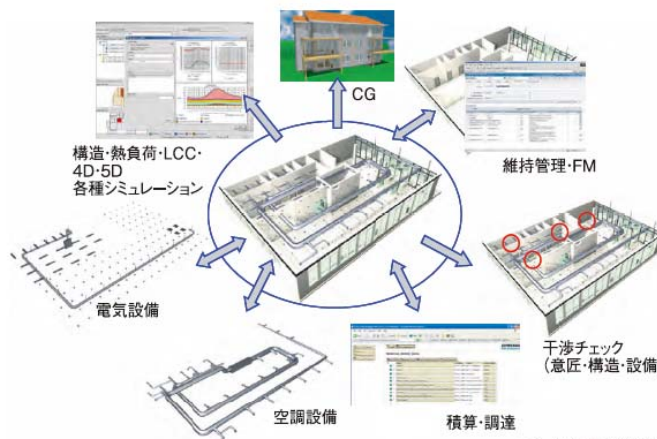
「BIM」は、企画・設計、施工および維持保全までも含めた建築プロジェクトにおけるデータの共有と活用を意識した生産方法です。

国(国土交通省)も、パイロットプロジェクトとして官庁建設工事にBIMを導入するなど、今後の建築生産の手法として一層注目されてきています。

このような背景のもと、本企画は「BIM」とはどのような技術であるかを学ぶことを目的としています。

今回は、建設プロジェクトのデータ共有と活用を推進する国際的な機関であるIAI(International Alliance for Interoperability)の日本法人 (IAI 日本) の事務局を担当され、あわせてBIM関連業務に積極的に取り組んでおられるGSA株式会社から講師をお迎えし、BIMの概要と適応事例について、モデルケースも含め解説していただきます。

またソフトウェアのデモンストレーションをもとに、BIMへの理解をさらに深めます。



BIMの概要

(出典：「IFC建物データを利用するソフトウェア群」
IAI日本 建設業の国際標準活用動向 V.2より)

BIMとは…

BIM (Building Information Modeling) とは、建築物を形状だけでなく、性能・コスト・スケジュールといった様々な属性を含んだオブジェクトの集合体として表現する概念。従来の2次元CADシステムのように図面を作成することを主目的とするのではなく、建築物全体をモデル化することにより、ひとつのモデルから平面図や断面図などの図面・コスト・スケジュールといった情報を、必要なときに取り出せることを意味する。こうした BIM コンセプトの具体化のためのツールとして、3次元CADシステムを活用する。(出典：IAI日本 建設業の国際標準活用動向 V.2より)

■企画担当：磯野 重浩 ・ 星野 政博

■(社)実践教育訓練研究協会 建築・デザイン系専門部会